光る知性　豊かな心　強い意志

南 中 生

長井市立長井南中学校
令和 7年 9月 26日
校長　柿　崎　　円

“自分の意志が、世界にたった一人の自分をつくる”
“誰かを応援し、誰かに応援されることの大切さ”



（有森裕子　DIAMONDonline より）

先週末は、置賜地区新人陸上大会、西置賜地区新人大会水泳競技、吹奏楽部定期演奏会が行われました。自分の記録に挑戦する姿、伸び伸びと演奏する姿は清々しいものでした。明日からは西置賜地区新人大会が行われます。学年の廊下には、他の学年からの激励メッセージや各々の目標が掲示されています。新人大会に出場する人は、はつらつと競技に臨んでください。





インターネットに元マラソン選手、現日本陸連会長の有森裕子さんの対談記事（DIAMONDonline）が掲載されてありました。テーマは「誰かを応援し、誰かに応援されることの大切さ」。バルセロナ五輪銀メダル、アトランタ五輪銅メダルという偉業の陰にあったのは、走ることへの情熱と努力だけでなく、「応援」の持つ力も大きかったというものでした。今日は【後期 南中生激励会】。自分の目標を確認し、互いに応援しあって決意を固める日です。有森さんの経験や言葉が南中生の Passion に火をつけ、Action を起こすきっかけになればと思い紹介します。

有森さんは、「私にしかできない“何か”が欲しい」と思っていた小学５年生の時、陸上クラブで出会った先生に良さを認め、応援してもらうことで自信をつけていきます。よい指導者との出会いだけでなく、有森さんは人のせいにしない、何があっても自分の意志を貫くことを大事にしました。高校進学の時は周りから志望校の受験に反対され、入学した高校では実績が足りないという理由で陸上部への入部を断られたそうですが、一歩も引きさがらなかったそうです。

「諦めるか諦めないかは、周りがコントロールすることではありません。相手がどう反応しようが、諦める理由がなければ、私は自分の意志を貫きたい。自分の意志を周りの人から反対されたら傷つくでしょう。でも、傷ついて諦めるようであれば、そもそもその程度の夢だったということ。強い意志があるからこそ、周りの人が動いてくれる。私の意志が、世界でたった一人の“有森裕子”をつくるのです。」（有森裕子）



「私の意志が、世界でたった一人の“〇〇”をつくる。」…〇〇に自分の名前を入れてみてください。今日、激励会で確認した目標を達成しようとする中で、ネガティブな感情に襲われることあるかもしれません。そんな時は有森さんの言葉の〇〇に自分の名前を入れて、自分の言葉にして乗りきってほしいと思います。

また、応援の力についても記されてありました。

「人は応援されると、“自分が存在し、がんばっていること”を改めて強く感じます。そうして、その人はさらにがんばることができるようになる。マラソンでは、沿道にいる人の声援で、ランナーは生き返ります。応援する人は、自分の声でランナーが元気になることに自分の存在意義を感じます。“応援”をする側される側も、“応援”によって、新たなエネルギーを得ていくのです。」(有森裕子)

「応援」の凄い力を改めて教えてもらえた気がしませんか？人に喜んでもらうことが嬉しい、自分が誰かのためなっていることが嬉しいと感じられる南中生になってほしいと願っています。今日の激励会で南中生の Passion、「応援の力」を見せてください。

栄光の記録



◆第３２回東北ジュニアテニス選手権大会(8/3)
　女子１５歳以下シングルス　　優勝　　さん
　女子１５歳以下ダブルス　　優勝　　さん（パートナーは他校）
　女子１８歳以下シングルス　　優勝　　さん
◆山形県卓球選手権大会〈カデットの部〉(8/17)
　女子ダブルス　第３位　　さん（パートナーは他校）
◆第６５回連盟会長杯ソフトテニス大会(9/6)
　女子　第１位　　さん・　　さん　組
◆あやめまつり柔道大会　男子軽量級(9/7)
　第３位　　さん
◆第３２回東北秋季ジュニアテニス選手権大会(9/7)
　女子ダブルス 第３位　　さん（パートナーは他校）
◆第５５回置賜地区中学ソフトテニス選手権大会(9/13)
　男子　第３位　　さん・　　さん